

北海道日本ハムファイターズ 外野手

陽岱鋼

Yoh Daikan

日台友好特別対談

吉田皓一

Koichi Yoshida

吉田皓一メディアマーケティング CEO

2013年シーズンの活躍により「ゴールデングラブ賞」「札幌ドームMVP賞」に輝き、2014年の台湾観光親善大使にも任命された、北海道日本ハムファイターズの陽岱鋼選手。台湾向けの日本旅行サイトを運営し、台湾で吉田皓一メディアマーケティングを設立した、吉田皓一さん。互いに異国で活躍する2人による、日台友好対談です。



陽岱鋼 / 1987年、台湾生まれ。福岡第一高校卒業後、2006年に北海道日本ハムファイターズに入団。背番号1、外野手。右投げ右打ち。

吉田皓一 / 1982年、奈良県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、朝日放送、株式会社はびふるを経て、2013年、台湾で吉田皓一メディアマーケティング設立、CEOに就任。中華圏の訪日観光客向けwebサービスを展開し、台湾(中分)版「北海道Likers」を運営。

台湾生まれの陽選手と、日頃から仕事で台北と東京を行き来している吉田さん。2人の会話は、すべて中国語で進みました。

嬉しかった！札幌ドームMVP賞

吉田皓一(以下吉田) 先日、ご自身のFacebookで、今年度の「札幌ドームMVP賞」の受賞について、喜びのコメントを投稿されたのを拝見しました。陽選手にとってこの受賞は、やはり特別なものだったのでしょうか？

陽岱鋼(以下陽) 私は日本のプロ野球界に身を置いて今年で8年になります。ファン投票をもとに受賞が決まる「札幌ドームMVP」を獲得できたことは、ファンが外国人である私を受け入れてくれた証だと考えています。そ



ういう意味では、非常に特別な賞だったと思います。

吉田 今シーズン初めて、パ・リーグ盗塁王のタイトルを受賞されましたね。去年に比べて盗塁数が急増したわけですが、背景にはどのような要因があったのでしょうか？

陽 これまで試合の中で蓄積してきた経験が、スタートを切るタイミングとスライディングに生かされ、ひとつに融合した結果だと思っています。

北海道と台湾のファンに感謝

吉田 私は普段、台湾にいる事が多いのですが、今年はここ数年陰りのあった野球への関心が戻ってきたように感じます。陽選手は今年、WBCや侍ジャパンとの強化試合など、母国で台湾代表としてプレーする機会が多くありましたが、台湾でプレーされる際に、去年までとは違った「変化」を感じましたか？

陽 感じますね。3月のWBCが終わってから11月の日台交流試合にかけて、台湾のファンが僕ら代表を応援してくれている実感が、どんどん強くなってきていると思います。試合



ごとに大きくなる声援を感じ、非常に嬉しく思っています。ファンを大切にしたいですね。

吉田 北海道のファンと台湾のファンでは、どこか違う部分はありますか？

陽 どちらの国のファンも、僕にとっては同じです。皆さんは同じように僕を愛してくれていて、無名のころからずっと応援してくれていて、僕がなかなか打てなくて代えられそうになっていた時も、ファンはずっと応援してくれていました。国は違っても日台両国のファンには同じように感謝をし、同じように愛しています。

吉田 では、陽選手から見た「北海道のオスス

メ」を教えていただけますか？

陽 「海鮮」と「しゃぶしゃぶ」ですね！あとは、「富良野のラベンダー畑」。今年の夏に、バスに乗って旭川から帯広に行く途中で、富良野に寄ったんですよ。

吉田 ご家族とですよ？奥様も喜んでおられましたか？

陽 はい、花がとてもきれいだったので、すごく喜んでいました。あとは「函館の夜景」でしょうか。妻も、とても北海道が好きなんです。大自然に恵まれていますし、森林が多いので空気が新鮮で、気持ちいいです。

「赤」は自分にとって元気が出る色

吉田 陽選手と言うと、やはりイメージカラーは「赤」ですが、元から赤がお好きだったのでしょうか？

陽 そうです。僕は元々赤が好き。ただ入団当時(2006年)は、新庄(剛志)さんのイメージカラーがすでに赤でした。だから僕はいったん「白」に変えたんですね。新庄さんが退団された後で赤を頂いた形になったので、当初

は「真似した」という声も一部聞こえたのですが、違うんです！（笑）

吉田 では、洋服なども普段から赤を選ばれるのですか？

陽 服だと着こなすのが難しいので、靴や小物で赤を取り入れています。自宅でも赤いバラの花を飾ったりもしますよ。僕にとって、赤は「元気が出る色」なんです。

吉田 11月の日台交流試合でも台湾代表としてホームランを打っていましたが、よく選手が話される「打った瞬間の手ごたえ」というのは、どんな感覚なのでしょう？

陽 当たりのいいホームランって、「カ」じゃ



ないんですよ。スイングのタイミングがぴったり合って、バットの芯でボールをとらえられた瞬間に、軽く飛んでいく。

吉田 いつどこで打っても、嬉しいものですか？

陽 それはそうですが、札幌ドームでホームランを打った時は、ファンの声と盛り上がり直に伝わって来て自分も高揚します。相手チームの球場で打った時とは、全然違う。やっぱり札幌ドームで打つのが最高ですよ。

吉田 では最後に、来年の目標、それから5年後の目標を教えてください。

陽 今年、チームの成績は満足できるものではなかったのですが、来年はチームメイトとともに、日本に向けて邁進していきたいと思っています。5年後については、ここ数年、本当に何が起きるか分からないので、その時どこにいるかも想像していません。あまり多くのことを考えず、ただひとつだけ、自分自身が自分自身を超えながら、毎年成長していけることを目標にしています。

吉田 ありがとうございます！今後の更なるご活躍をお祈りしています。